

古郷之忘形見  
ふるさとのわすれがたみ

作..清野和也

◎登場人物

近野和安  
こんのわあん

久八  
ひさはち

かつら

瓦焼き長兵衛  
おおきざか おおみの

大木坂の大美濃  
おおきざかのおみの

ウヂテ

以下民話上の出演（かつら以下の登場人物と兼ねることが出来る）

振袖娘

狐たち

村人1・2

伊達成実

ヨコヅナ

岡田庄太夫

子ども1・2

## 古郷之忘形見

久八  
一同

それじゃあ、もうお時間だー。監督どうか、手はず通りにー。  
はーいー！

よろしくお願ひします！  
よろしくお願ひします！

舞台は古い屋敷。上手側に木戸。下手に部屋が2室。

久八は扉から外に。それ以外の出演者は、部屋に下がる。

長兵衛、忘れ物をしたことに気づき取りに帰る。

長兵衛がそのまま舞台上に残されたまま開演。

久八の声に慌てて長兵衛帰ろうとするが焦って転んでしまう。

かつらが部屋から出てきて駆け寄り、長兵衛を立たせて下がる。

以上のやり取りは一場の木戸の外でのやり取りと並行して行う。

開演前。この上演において、和安以外の役者は受付や会場内の誘導を行っている。

このとき、現代に生きる人間として接して構わない。

開演時間直前の上演中の諸注意も出演者が伝える。

開演時間となり、久八が役者一同に声をかけ開演の準備が始まる。

一  
場

いつともしれない時代。

佐原村の近野和安の屋敷だった場所にて。

扉の外から久八と和安の声がする。

久八

和安

久八

和安

久八

和安

久八

和安

久八

和安

久八

和安

「さあ、ああ和安さま、」  
「いやが玄関で」  
「あります。(扉を開けて長兵衛たちを見て、すぐに閉めて)  
なぜ閉める(開けようとする)」

(すぐにはまた閉めて)「いやいや、大事なことを忘れていましたー。」  
「ああ、ただいまと大きな声で言つてくださいまし  
…うん。ただいま帰つたぞ  
もつと大きな声でー!」

久八、良いか、あまり帰つてきたことを…村の者たちに知られたくないのだ。

心配ありませんよ、和安さま。」  
の屋敷に来るまでに入っ子一人会わなかつたでしょ?」

それは…ああ、確かにねうだが:

せつかくの、「帰宅」です。気兼ねなくお手つりを頂けますよう、」  
の辺りに住む者は、お別のところに行つております。  
わざわざ、そこまでー。

この久八、それほどまでに待ちわびていたのです。さあ、さあ、大きな声でどつねー。」  
「やんせー  
ただいま帰つたぞーー!!



まひで誰か中止するやつ

久八、まさかお前！

二十一

そのよつぱんスルサセ、だのよつぱんじだー。

久八  
いま和安さまが思い浮かべていなかぬな」とです

おつぐ言いつけたはずだ。この家はいつとき手放すが、必ず江戸で一旗上げて買い戻すと！

久八  
承知しております。それまでの間、この久八めに預けると

良いか、預けたのだ！」の家を決して貸家（かしや）にはするなど、誰一人「の家に住まわせてはならぬと、そう言つたな。

違うか！

……本当だな？

「あ、どうかねえつまんねえつねえだよ。」もし。寒くなつてしまつた、火を入れましょつか。……あれー、どうされましたー?

部屋を見てくる

お好きにならうべからず。さつま

નુદી

久八  
いいえ…ジーニーも好きなどJNのをお探しすぐださー

古鄉之忘形見

和安

(あざやくつてやう)

和安

久八  
承知仕りました！

和安

(ルートではない部屋に移動する)

久八

和安

久八

ああああーーー「うちに行かれるー玄関から見て右手側にーいわゆる上手側にいかれるのですねーー」と見せかけて、左側、右側、やっぱり左側の部屋に行く

和安別の部屋に移動する。入れ替わりに和安が入つていった別の部屋の戸が開き、忘れ形見たちが出てくる。

かつら

大木坂

久八

長兵衛

久  
八

かつら

困るよなあ久八。家賃払つてねえもんなあ、オイラたちは  
それはいいんですけど

古郷之忘形見

長兵衛

大木坂

かつら

大木坂

かつら

大木坂

錢がなくとも腕があるから問題ない。だ々?

ちつともわからんー。オレに聞くんじゃねえ  
それじゃ、いつたん出ていくからね、  
えー、寒いだろ、外

そんな団体してなにこつてんだいー!

どひかにしろ和安と話すんだべつがー

世の中には順序つるものがあるつて久八さん言つてただる。

オイ「も別に構わねえと思つけどなあ

わよつだけ待つてください。道すがら話したんですけどね、やっぱり和安やま、なんにも氣づいてないんですよ

かつら  
久八

ええ。和安さん、自分の身上に起つたこと、なんにも

バカだなあ、あーつ

なんていふと聞つのよー

久八

今はJの家には誰もいなことこつことになつてますし、いやなり皆さんが姿見せたら、あの人のJです、怒つて話しにな  
らない。だから、私がちょっとつまじ具合に探つておくので、ちょっとの間だけー

外はヤダよ、なあ?

大木坂

うん、ホント寒いから

長兵衛

古郷之忘形見

久八

かつら

和安

久八

家の中で良いですか、どうかうまいとこへ……あれ、ちょっと待って、ウチデちゃんは?

ああ、そう、それがね、

(奥の部屋から)久八――

はーい――隠れてエ――!

かつら、長兵衛、大木坂隠れる

誰もいなかつたでしょー?

いなかつた、当たり前だ。それより一〇の二冊。「奥州信夫・伊達二郡略年代記」「佐原村根元記」なぜ一〇にあるへ

借りてきましたよ

借りたー？門外不出と言つていたたはずだー！それを安々と人に貸すとはーー

和安さま、この本たちには格別な思い入れがあるのでしょう、だから！

しかしだー・軽々しく貸すとはー・

軽々じゃないですー腹切るって書いたんですねーー貸してくれなきゃ」と死ぬつてーーむりーーやだーーつて駄々」ね

たんですね。おひさしぶり、ここにおひで貸して貰つてやつてましたーー

：久八！この二冊は、私がこの生涯をかけて書いた本だ。

七八

読んだか？

いえいえ、私宛に贈られたものではありませんから

読んでないのか?」の傑作を!

勝手に読んだら和安様怒るじゃないですか

和安 読みたいから、借りたのだろう

久八 … 読んでほしいのですか？

和安 ほしいのではない。お前は読みたくて仕方ないだろ？とー。お前が話して「いた」ともまとめてあるのだ。良いか。そこ。読んでみろ！

久八 和安 愛らんから早くしりー。  
怒らんから早くしりー。

久八 「…元禄年に西原の久八は、福島へ行く。その夕暮れ、「和安さん、よこによひて」の話ですかー。もひとつあるでしょー。」

和安 ほれ、そこ、玄関

久八 えー・…はいはい「西原の久八と振袖娘」の話ー。

以下、民話の中身を演じていく。久八の女房は和安が演じる

民話「西原の久八と振袖娘」より

久八 いやあ、随分と遅くなつてしまつたなあ。かつかあ、帰つたぞ

久八の女房 わよつとあんだーー！」と座りなさい！

久八 へえ、なんでしようか

久八の女房 サキほど、随分とべっぴんさんがいらっしゃってね

久八 べっぴんさん。やつあお目にかかるつてみたかつたね

久八の女房  
あの女、いつたいど」から連れてきたんだい！

久八

久八の女房  
いつたい福島の街になにをしに行つてゐるんだか――

久八  
久八の女房  
なつて仕事だよオ！なんだよ、そのべっぴんさんつてのがどうしたつて  
あんだが来るほんの少し前さ、振り袖を来た女、ありや肌の感じ一十七、八つてどこだね・・がそ」の玄関に来て

振袖娘がいつの間にか立っていて

久八様は街よりはや帰るべし

久八の女房  
なんだい、あんた！なにもんだい！

久八様は街よりはや帰るべし

久八の女房  
うちの旦那のこと、知ってるのかい？

久八様は街よりはや帰るべし

久八の女房  
二二二笑いながらずつとそう言つんだよ。中に入れつて言つても入らないしねえ

久八  
そいつはいまどきにいるんだい

久八の女房  
ど二にうて……すうとせじに…あれ、ど二にいつまつたんだろうね

久八 & 和安  
ばけ物と見えたり

久八

和安

久八

和安

久八

和安

久八

和安

久八

も「うよつと無かつたですかー・も「うよつと良い話ーー・あつたでしょ、私なんかはも「いっぽじ残す話あつたでしょーー。  
これが一番面白かった  
なんですか面白かつたって  
本当に化け物だつたんですかね?  
本当ですよー。  
じゃあ、載つてもいいじやん  
くわああー・ああー・和安さんのお話は差し障りない!  
いや、「れも実話なんでね  
「筆者の家に狐の悪戯」の話ー。

民話 「著者の家に狐の悪戯」 より

宝暦年に中原のアの家の前の庭に、冬の節、夜半、戸をたたき

狐たちが出てくる

久八

古郷之忘形見

狐たち

とん とん とん とん

かさ かさ かさ

久八

と拍子を合わせる音がある。

和安

明朝見れば狐のわざなり。

狐たち、以下の音にセリフに合わせて動く

和安

家の下駄を四、五足算木さんぎならべにして、薄雪すいせきふりかれば四角に雪を踏み、畳一畳武ほどの広さなり。狐のふとんといふものにあり。」のあとおびただしく付けたり。なにかイタズラと見えたり。戸に叩きたぬ雪付けて有り。

久八

なんか、いい感じじゃないですかー狐たちが冬の夜、戸を とんとんとんとん かさかさかさ… ばけ者と見えたり とは大違ひじやないですか！

和安

久八！お前が私の文章に文句を言える立場かー慎め！

申し訳ござりません！

和安

「ういつた狐や化物の話は、ほんの一冊にすぎん。」の本には、佐原の、荒井の、信達のあらわし歴史がつまつている。それもこれまでのよつなお侍さまの歴史ではない。我々、百姓の歴史だー私はそれを残すのだーー良いかー！

はい

この価値がお前にわかるかー！

和安 久八

久八  
わかります！

解つてたまるかアー！

じやあ聞かないでくださいよ

和安  
久八、お前、父の名前が言えるか

ヒサ蔵です

和安

トシ蔵です

和安

えつと……解りませんよ

和安 嘆かわしい。自分の曾祖父の名前や、言えないものが多すぎるので

はい…

和安

だが仕方ない！朝早くから田畠に出、細い体にムチ打ち働き、出来た米はお上に納め、手元に残ったわずかな粟・麦で暮らすしか無い。こんな余裕の無い畠では、過去に思い馳せる暇などなかへつ。

はい

和安

だが久八、決して忘れてはならんのだ。我々百姓たちは、たとえ虐げられ、虫けらのように扱われようとも、旧年の古より代々この土の上に生きていた。ここに豈よつて、この村を治めるが上が口口口口と変わらうとも、それだけは変わらなかつた。どうだかうー。

古鄉之忘形見

久八

なにか言いたげだな

「いや、そんなことは…」

お前はこの土地を離れたと云ふみたいのだな

とんでもない！

和安

久ハ思へておせんよ!!本立には

そこにウチデが扉を開けてやつてきて

ウチデ

あ  
～！

和安

和安 謝るのになんでそつちに行つたんだ

それは…恐れ多くて…謝るときには心理的にも物理的にもディスタンスを取りたいのですー

ウチデ

古鄉之忘形見

和安 誰かいるのか

えー誰もこませんよー?

やはりお前！住まわせていたな！

そんなことあつまへんよー?

二十九

•  
•  
•

二三九

久八觀念してウチデを前に出し

ウチデ 遊ぼう、和安

久八 和安様、どこから話して良いものか  
誰もおうんではないか

...؟

ウチデ  
和安?

まったく、お前は猫のようだな

久和安

猫?

古鄉之忘形見

なにもな」と「ハ」を、誰も「いな」と「ハ」を「ジシ」と見る。薄氣味悪いぞ。

見えないのでですか

和安  
だから何が

ウチデ  
和安、遊ぼう？

久八

和安 なにを言つてゐんだ。

ウチデ  
ねえ、どうして無視するの？

和安  
ああ、なんだかお前の戯言につきあつていたら疲れてしまつたな。

ウチデ  
和安、嫌い！

久八

ウチデ退場、和安、三人が隠れている扉を開ける

和安久八 もう、休ませてくれああ、その部屋はー！

三人がいるが和安は見えていないように

古郷之忘形見

和安

大声で騒ぐな。今日はなんだかやけに頭に響く

和安奥の部屋に入る

二場

かつら どいつじーじだい?

大木坂 俺たちの「」とを見えてねえみたいに

長兵衛 まあ、見たくないものは見えないもんよ

大木坂 どいつじーじだい?

長兵衛 オイ「」たちの「」を見たくなつ…つまり忘れたいんじゃねえのかい、「」の古郷の「」をや

かつら あの和安がかい…?

久八 …いや、それとか。おかしいと感つたんです。~~は~~に発つて一十年。あれだけ「」の地を愛してした和安さんだが、いま「」のとや  
まで一度たりとも帰つていなかつた。

長兵衛 だが、久八さんよ。それなら俺達はどうなつたまつんだい?

久八 どうりで

長兵衛 和安さんのがいたから、オイ「」たちの存在があるんじゃねえかい…それなのに、和安さんのが忘れようとこころめたいつ…。オイ

「」たちはしなくなつちまつんじゃねえのかい?

おいおい、ふざけんなよ!

久八 皆さんは和安さんだけが生み出した存在じゃあつませんよ

でもあんたが言つたんだよ。和安さんがいるから、明日も明後日も其の先も、私らの存在が残り続けるんだつて。

古郷之忘形見

長兵衛

大木坂

久八

おいー和安ーーおいーーー！

大木坂さんーーなにをー！

無理矢理でも思い出せせてやるんだよー。オレだオレだオレだアー！

かつら  
やめなつて

大木坂  
かつら  
だつてあんまりだアー。生まれ古郷を、俺たちを忘れようとするなんて

それだけ辛かつたんだろう

大木坂  
かつら  
なにが辛いつてんだ

聞いてみなきやわかんないよ

大木坂  
かつら  
じゃあ、聞いてみようじやねえか。和安にーーなあー！

部屋から和安が出てきて

和安  
久八ーー！

大木坂  
あーびつくりしたあ

はい、なんでしよう、和安さま

誰もいないつて言つたな？

古郷之忘形見

久八 長兵衛 おやあー? ええ、そうですが なんだちやんと見えてんのか!?

大木坂 和安 (大木坂の存在を完全に無視して)なんだ」の酒は...  
長兵衛 アヤ、私の酒

久八 和安 ああ、それは、その、和安さまの「帰宅のお祝い」と  
酒はやうん、博打も打たん、女遊びは一度三度一真面目一筋七十年一そんなことはわからんお前ではあるまいー誰か住ま  
せておつたな。いや、これは栓も空いておうん。住ませておるなー

大木坂 ああ、俺達だよー眼の前にいるだらうが!

久八 和安 ああ、俺達だよー眼の前にいるだらうが!

和安さま。どうして戻ってきたんです  
なに? どうじーの古郷に戻つてきたんですか

久八 和安 そんないいはいいでもこうだらうーーの酒と、お前がオレについた嘘とーなんの関係があるんだ  
あるんですね、それが。ですから、答えてください

久八 和安 なんだやけに神妙に  
大事なことですから

久八 和安 古郷に帰つてきてなにが悪い

## 古郷之忘形見

久八 古郷が懐かしくなつたんですか

そうだ

久八 そいつは嘘だ

和安 なにをオレの心内を覗けぬものか

久八 …あなたはいつだつてせつだ。踏み込もうとするべく離れていく。…和安さん。昔話、聞かせて貰えん話をそらすな

和安 久八 ちつともそりしちゃいやしません……和安さんは下戸で飲めないが、酒の席ではお話を語つてくれた。番兵衛で、愉快なおひとの話を。私はあのひとの話が好きでね。その人がね、呑んでる酒なんですよ、それは

誰のことだ

久八 瓦焼き長兵衛さん

和安 長兵衛

久八 忘れちまつたかい？

一代田・宝正院ほうじやういんさまの頃の話だ。かわら焼の長兵衛という腕の良い細工人が江戸からこの村にやってきた。「瓦焼き長兵衛」の話一。

民話 「瓦焼き長兵衛」 より

古郷之忘形見

長兵衛

あ、いや、かわら焼きのなんて呼ばれちや恐縮なんですがね。あつしには師匠と呼べるお方ア、おりやあせん。焼も薬ひでの使い方がわかりやせん。ただ、松の葉っぱを焼いたもんでね、慈徳寺じとくじさまやい、陽林寺ようりんじさまやらお寺さんのお仏像様をちよこと借りて、真似事でつくつてみやした。こいつが随分と評判になりましね。

村人1 あんたが長兵衛さんだね、

長兵衛 ええ、ああ、そつですが

お寺さんから仏像さまを借りて、よく似たものをつくつとか

村人1 長兵衛 アイや、こりや、悪いことをしちまつですかね…。ただの手遊びでね、どうかご勘弁、ご容赦を

村人2 なにも怒りつゝわけじゃないんだ

長兵衛 へえ、それじやあ?

村人1 原の觀音さまでまがすごぶと朽ちてせりしまつてね。あんたに作つてもうねえかつて話しこじるんだよ  
長兵衛 そんな、だつて、あつしみてえなだの馬の骨とも解らねえやつ

村人2 腕は確かだろう

長兵衛 河原に住んでるようなやつですぜ

村人1 わざかしかやれねえが、村から米と錢をやわら。悪い話じやないだろ?.

長兵衛 そりやあ、ありがてえけども…。本当に良じんですかい?

村人1 ああ

長兵衛 こいつあ、氣合口に入れて作らなきゃならぬえな!

## 古郷之忘形見

和安

そうして瓦焼き長兵衛は、原の觀音サカナもと、入佐原の虚空蔵サカナの仁王におうも、唐獅子と龜もつくつた。村中から請われて、  
恵比寿大黒天までつくつてな、

長兵衛

和安

村人1

長兵衛

村人2

和安

長兵衛

「さかこんな縁もゆかりも無い地で、ひとまの役に立つて生きられたあ、幸せないつたなあ…。  
この男、大酒呑みにて祝儀日には村を歩き、酒などを振る舞い候えば  
ああ、長兵衛さんー今日は祝いの祭りの日ー酒の振る舞いがありますよー。  
こいつがなによりもたまらねえ。あつしの血は酒で出来てるんだなあー。  
それそれどつたー！

めでたぐよく うたいけり

ああ、めでたけれ めでたけれ！

あ、ソレ！

長兵衛、盆踊りを歌い踊る

♪佐原恋しや 韋馱天さまよ

ほのぼの見えます 桜花

踊りた中に 誰が茄子なげた

茄子のどげや ソレ手にナナハ

古郷之忘形見

踊り見にきたか 立見にきたか

「」は立見の場所でない、

和安

死がいは原の墓に埋め、しばり其上に手本の御影(彫刻)を置き施すに、」の御影仏、朽ちたり

久八

私は長兵衛さんが好きでね。お江戸からどんな事情があつてこの村に来たかは解らないが、最後は」の土に還った。

長兵衛

和安さんは、江戸の土に還るんですかい?

和安

オレは古郷の土には還れんだろうな

長兵衛

おお、和安さん!

久八 聞こえますか、見えますか!

和安 何を言つてゐんだ

久八 ああ…なんだ…

和安 長兵衛はさうして帰らんかつたんだろうな、江戸に

久八 この村が好きになつたからじゃないですか。和安さんまが愛した」の村を

長兵衛

ええ、

和安 愛した

久八 違うんですか?

和安 …江戸は良いところだった

長兵衛

そうだねえ、活版がある

久八 江戸ではたしか易者をやれていたとか

和安 そうだ。とにかく人が多い。それもやけにおせつかいな奴らばかりでな。~~芝居~~もたらんと見た。

久八 ですか。

久八 とにかく家がずらーっと並んで立つてゐる。だから火事でも起きてみる。すぐに燃え移つてしまつ。…江戸の大火はひどかつた。

和安さんも、大火にあつたと

久八 和安 …」の二冊はな、」の佐原村にいるときに、」の足と耳で集めたものだ。」これが江戸での私の心の拠り所だった。古郷がある、古郷がある。…だが、その二冊が大火で焼けて失つた。灰になつてしまつた。燃えた屋敷の跡、確か閉まつてあつたのは」のあたりだ。ああ、」の灰か。」の灰が私のふくらむとか。ああ、私の古郷が無くなつたと思つた。

久八 変わらず」のありますよ

久八 和安 いいや、なくなつてしまつたんだ。あのときから。いや、事業に失敗し借金を背負い、」の村を逃げ出したあの日から、」の村を捨てたあの日から

久八 …焼けたつて、」の本は?

久八 和安 …もう一度書き起ししたんだ。灰になつたままであるのがしひなくてな。老眼で田も見えん。だが、思い起し、」の手で書いた

久八 :

古郷之忘形見

和安

久八

和安さん、

…（誰もいない一 点を見て）ああ、あああ……久八、誰もいないと云つたではないか

ようやく見えますか

申し訳、ヤニコモセ、申し訳、ヤニコモセ、…申し訳、ヤニコモセ、申し訳、ヤニコモセ、…

和安さま、

（氣を失つて倒れてしまふ）

かつら出でまへ

かつら  
和安一?

久八  
和安さま、和安さま……

かつら  
長兵衛  
長兵衛一濡らした手ぬぐいを一

へい!

久八  
和安さま……和安さま……

騒がなくていいよ、大丈夫だから

かつら  
長兵衛  
え、そこの？大丈夫？

## 古郷之忘形見

かつら そりやそりだらう。これ以上、悪くはないだらう

長兵衛 あ、そりやそりか心配して損した。手ぬぐいもいらぬ?

かつら 一応、見せかけでかけときな

長兵衛 へいへい

久八 そうですね…。これ以上悪くなりようがない。倒れる理由もない。……あの誰かいましたかね?

長兵衛 和安が見てた方がいい。いや。いなかつたね

久八 ですよね。私らに見えないことはないんじゃないかな

かつら 和安にしか見えないモノがあつたってことかい?

久八 和安さんの心残り。あつちに残した忘れ形見。なにが見えてるんでしょ

長兵衛 その心残りが解れば、あつちのことも見えるようになるかもしけないねえ

久八 古郷のことを、忘れてるわけはないんですよ。江戸の大火灾難のあとも、いつもして思い返して残している。

かつら でもそれはどいか逃げていい気もあるね

久八 逃げてるや。

かつら ああ、書くとで、逃げ出した古郷に言ひ訳をしてくる。

四場

入口の戸が開き大木坂が立っている。手には刀

長兵衛

大木坂?なんだ、そんな物騒なもの持つて  
遊んでくれない和安は嫌いだ

長兵衛?  
おやあ?

大木坂  
かつら  
和安なんて嫌いだ

かつら  
久八  
取り憑かれてるね、こりゃあ

久八  
ちよとーーー和安さん、起きてーーー寝てーーー場合じやーーーないですーーー

大木坂、玄関の刀を振り回す

和安  
久八  
かつら  
長兵衛

あああああーーー刀が浮いてるつーーー  
どうすりやいいんでしょ!

とっあえず大木坂に正氣に戻つてもうわないと  
水でもぶつかれるかー?

古鄉之忘形見

久八

そつ……話して……その……話……「大木坂の大美濃の話!」

民話「大木坂大美濃の大力」より

和安

萩坂阿部美濃（はぎさかあべみの）と云う人は、大力大兵にて、他所より女や子供を奪い來たり、宮林の大木松に繫ぎ置き、売りに出し候由。

村人1

「こいつに…ほつひ、見てみろ、この大木に刺さったマサカリ!」

村人2

これが、大美濃さまのマサカリか

村人1

抜いてみろ

村人2

え!

村人1

選ばれしもの以外誰も抜いたやつはいねえ…

村人2

そんなエクスカリバーみてえな。よおし、やつてみるぞー。うおおおおー。だめだらうとも抜けねえ。どんなに深く刺さってん

だ

大木坂

昨日は軽く刺したんだがな…。よいしょーー。(軽々と抜き)

村人1

いやあ、さすがは美濃さまだ!

村人2

こりや、もしかすると、勝てるかもしねえな

何の話だ?

村人1

こんど、大森のお殿様の伊達成実（だてしげね）さまのと、うでよ、賭け相撲があるんだ

大木坂 賭け相撲

村人2

村人1

大木坂

「の力士つてのがまあ、強し。去年からまだ一回も負けたやつない。しかもこには誰も戦わつてこなくなつてしまつた  
だけど、大美濃さんなり、勝てるやじないかってー。

そいつあ面白いー。いつも賭け相撲、出てやるうじやないかー

所変わつて大森城にて、城主・伊達成美がいる

伊達成実

大木坂

伊達成実

ヨコヅナ

村人  
1

村人2

村人  
1

なにい！？

だけど、あのヨゴヅナ、人間じやねえみたいだ

ヨコヅナ

村人2

さすがの阿部美濃でも…

これより！賭け相撲を行う！今日の挑戦者は！

大木坂に住む阿部美濃と申す！殿様！オレが買（たらた）ふり褒美をくれよ！

(ロボット画立)ドスコスコトドスコスコスコイドスコイ／

がんばれえー美濃さん……なんだ青い顔して……？

全財産賭けちまつたんだよ

なにい！？

だけど、あのヨゴヅナ、人間じやねえみたいだ

さすがの阿部美濃でも…

さすがの阿部美濃でも…

伊達成実

それではーはつけよいーのーうたー

村人1

いやあ、ありやあ、驚いたね。取り組みが始まった瞬間だよ。美濃は、軽々とジドスコを軽々と差し上げた。あのど地のジドスコの顔といったらねえ、それから、地底にだよ、ぐわあと打ち込んでしまった。ジドスコはもうぴくとも動かねえ。あまりの一瞬のことにしてーひとつとなつてね、そこからあああああだよ、隣の全財産を賭けたやつなんかは卒倒しちゃつてね…殿様も大喜びやー。

伊達成実

褒美を与えるー

大木坂

ははあー

伊達成実

阿部美濃…今日から大美濃と名乗るが良いー

大木坂

ははあー…

伊達成実

それからお主、我が伊達軍に入らぬかー戦国の世でもお主の力は百人力よー

大木坂

これは、願つてもない言葉ーオレのような百姓がお侍様になれるとはーかたじけのうづこまむー

伊達成実

ともに天下を田植せんーー

大木坂憑き物が取れている

長兵衛  
大木坂

止まつたねえ  
…ああ、面白ねえ



古鄉之忘形見

戸がカタカタとなる音

和安

久八

ああ、泣いておる。……返せ返せと泣いておる。

久和安

まごのあのかつら様は立つておるのか  
かつら様。覚えておいでですか  
ほうう遠くの方から、風にのせて、ああ、あれはかつら様の声か。ごおん、ごおんと泣いておる。

久八

まだ、いまでも、立っています。  
そうか。

和安

民話「田中内の桂の大々古木」より

和安

村人たち

田中内うば神御社にかつらの太々古木あり。その太さは、たなかうちだいだいじほく

人間が八人、手を繋いで回してみるほどである。その昔、地主様がこの桂の木の枝で、鉢を作り、こうせんじ康善寺に遣わした。す

## 古郷之忘形見

村人たち  
和安  
「おん、」おん  
と不気味な音がするよくなつた。村人たちは、ど「から音がするのだかうと近寄りていった。すると、桂の古木が泣いて  
こないではないか。

村人たち  
和安  
「おん、」おん  
その音は、言葉に変わつて聞こえる。  
かつら  
その鉢を返せ、その鉢を返せ  
和安  
白髪のうば神現じて、呼びたもつ。  
村人たち  
「おん、」おん  
かつら  
その鉢を返せ、その鉢を返せ  
和安  
地主、御ばちを受け候。それからとこうもの、村人たちは「の木を伐つたりしなくなり、かつら様と拌むよつになつた。いま  
でも、「」の大木に立ち沿ひ、氣を静めて聞くに、ふしがれ、「おん、」おんと音あり。  
村人たち  
「おん、」おん  
「おん、」おん  
和安  
この大木は信達一郡に第一の大々古木なり

和安  
久八  
かつら  
ずっと返せ、返せと鳴つてこる  
なこを返せと?  
言つやいないよ、

久八 かつら様はなにも求めちゃいませんよ

和安 …古郷を、この古郷を。オレが手放してしまった、先祖伝来の地を、「この土を。」先祖やまが言つておる。古郷の奴らが俺を呼んでいる。逃げおつて、逃げおつて。お前が失敗した。お前が売った。生涯の恥、死してもなお償いきれん！

久八 忘れ形見

和安 まだ開かれてもいないこの土地を、開き耕し田畠にしたが、先祖様に俺は頭が上がらん。死してなおこの古郷を守つた太郎右衛門様に顔向けが出来ん。見んでくれ、そんな目で見んでくれ

和安 かつら  
和安 大丈夫だよ

俺は、太郎右衛門さまにはなれなかつた。俺だつてかつては、この村のために命を捨ててでも、添い遂げる覚悟があつた。あつたはずだ。

久八 太郎右衛門さま。」の本にも一番長く書かれていました。

和安 残さなければならぬと思つた。父が名主だった頃、太郎右衛門さまは江戸に登つた。

久八 「義民太郎右衛門」の話

民話 「義民太郎右衛門」 より

和安 あら田口の芝山を獄門場と申す事は、享保十四年、佐原の内、三代の佐藤太郎右衛門、困窮故に村々百姓より頼まれ 江戸へ越訴つかまつり この地にて獄門となつた由。

久八

その年は長雨の影響で凶作でした。しかしどもの代官は年貢を上げ百姓たちは困窮。との百姓代、佐藤太郎右衛門さまは代官所に年貢の減免をお願いしました。

和安

お代官様が治める信達三十五ヶ村の百姓に代わり、嘆願させていただきます。このたびの長雨で田畠は凶作、自分たちが食べるもののヤハ、ままならず困窮まさにここに極まり。妻子を売るもの、餓死するものすらいる始末。子ども、老人は虫の息一。このままではこの村は立ち行かなくなつてしまします。何卒、この慈悲により、年貢の減免をお願い申し上げます。

岡田

お生ひ百姓どもの願い、毛の一本すら聞き入れるつもりはない。虫けりの」とも、お前らが何故に生きていられるのだと思つてゐるか?すべては上様のおかげや。たとえ天変地異にあおつとも、肉を割り、骨をしゃぶり、血をしぼって、お上に差し出すのが上納の米よ。これすら出来ぬは人ではあるまじ。家畜の」とくワフを食べばよいし。以上だ

久八

嘆願は聞き入れられず、太郎右衛門は当時禁止されていた藩を越えた直訴、江戸への越訴を行いました。百姓たちを救うためお上に直接、救いを求めましたが、捕らえられ、あり田出口にて打ち首獄門となりました。

和安

(太郎右衛門辞世の句)

人の為 登る我が身の うれしきに

思いしれかし 信夫人々

人の為に死する我が身の命かな

つらひとせうに思わざりまし

一たびは死なで叶わぬ命なり

西の浄土へすぐに行くべし

和安

和安

太郎右衛門さまの、辞世の歌。…私も…私も」こんな生き方をしたかつた。」こんな言葉を残したかつた。だが、なにもなにも?それじゃあ、俺たちはなんなんだ

和安

和安

大木坂

大木地

お前が残したものだろう  
俺がじゃない。俺じゃなくてもいい。俺が伝えなくても残つていぐ

そりやあ、お前が、じゃなくたっていい！ だけど、だけどお前もいたから俺達がいるんだ。

和安

和安

「これが終ったからです」

三

久八

久八

そして、それでも、あなたは、「この地を求めていたからです。解つておこででしょ。」

ウチデが出てきて

和安、遊ぼう

和安  
ウチデ

ウチデ

遊んでくれない和安は嫌いだぞ！

和安さん、お聞かせください。

打出の虚空蔵さま。

久八 和安 「入佐原の虚空蔵」の話。

民話「入佐原の虚空蔵」より

和安 入佐原、打出の虚空蔵は、昔、御作の木造なり。古の大門は西に向かいて高橋和泉の屋敷付きなり。後ろ口のかに沢川に片

目のうなぎ住しける由、人々の願いかなわせ給うなり。…昔、

子ども それ、どうだい、楽しいが？

村人1 おーい、坊ーなにを田んぼのなか引きずつてんだ？

子ども 遊んできれつて言つてたの！

村人2 だからなにを引きずつてんだつて聞いてんだ

子ども 遊んできれつて言つてたの！

村人1 おや、こりや、打出の虚空蔵さまでねえか！

村人2 なんてばちあたりなー」のバカもんが！

子ども だって、遊んできれつて！

古郷之忘形見

村人1 いますぐ水で清めねえと  
村人2 ああ、ほれ、お前もぼーっとしてんじゃなくて謝れーほれ!  
子ども だつて、遊んできれつてー!  
村人1 謝れー頭ちゃんと下げるー!  
和安 その夜、虚空蔵お怒りありて、里人、人々をいため給う。  
ウチヂ ヲ(なんじ)ゞもー、ヲ(なんじ)ゞもー。  
村人1 ああ、打出の虚空蔵さまだ!  
村人2 とんだ失礼をー!の坊もーんなに反省してます  
村人1 どうか勘弁してやつてください!  
ウチヂ 怒つてるのは、お前たちにだー!  
村人1 はあ…教育がなつてませんで…  
村人2 面田も、ヤリこませんー!  
ウチヂ 違う!  
村人1 お前の洗い方がよく無かつたんでねえかー!ゴシゴシつてー。  
村人2 いやいや、こりゃあたいへん失礼しましたーー!ゴシゴシつてー。  
ウチヂ 違うーせつかく子どもと遊んでいたのに、汝どもが取り放つたー面白からずー、面白からずー。  
村人たち これはとんだ失礼をー!お許しあれ!

和安 奇態不思議なり。  
きたい

ウチヂ  
和安、遊ぼう

和安  
大木坂  
…(なにかが「みあげてもて『言葉』」詰まつ)…うん…うん…じいだ…  
ほう、シャキッとしてー。

長兵衛  
和安さん。オイフ、大美濃さんみてえな英雄じやねえ、ましてや太郎右衛門ヤリまみてえな立派なモノでもねえ。酒飲みで、本当は職人でもねえのに、たまたま好きなことで人やまに喜んでもらえて、こんな本に残してもうつて。普通に笑つて泣いて怒つて生きてきた人間よ。だけど、そういう人間ばかりじゃねえのかい。世の中つてよ。江戸だつて、この村だつて長い長い年月、私がね、桂の木がね、立つていられるのは、そういう普通の人たちが守つてくれたからだよ。

久八  
かつら  
久八  
あー、もう。和安さん、あんたが羨ましいーといつか、妬ましい

和安  
久八  
和安  
久八  
あー、もう。和安さん、あんたが羨ましいーといつか、妬ましい

長兵衛  
久八  
普通つてのは俺みたいなことを言つてでしょつ。「抜け物と見えたり」バカラの登場人物だ。和安さん、あんたのほうがよつぽどだらうがーーんなもん残してーちゃんと歎してーるのに、それなのに、古郷にも帰らず、ウジウジウジウジ、蛆虫かー。  
久八さん  
だいたいね、和安さんが一番解つてゐるんじゃないですか！ 普通の人間の尊さを。ほり、ーーに名前が連ねて書いてある。

本来、名も残らないであろう百姓たちの名前が。」の普通の人たちがいたから、いま僕らがいるんじゃないんですか。英雄譚や、不思議な話と同列に、「これだけの名が書いてるんだ。」これだけの名前が尊いと――

登場人物たちが、ただの百姓たちの名前だけをひたすらに呼びかける

久八  
この村に帰つて」なかつたのは、いろんな事情があつたんでしょう。「病氣をされてたのかかもしれない。家族があつたのか  
もしれない。やつぱり忘れたかつたのかもしれない。だけど、古郷は待つてましたよ、ずっと。あなたを。

和安 すまない、すまない…ありがとう…

大木坂  
あんまり甘やかすんじゃねえぞ

かづら  
いや、私は甘やかしてやつていいんだ

大木坂  
かつら

古郷だからね。」の村の土も、川も、風も、山も、姿たちは変わつても、決してその根っこは変えられない。その上に残つ

古郷だからね。」の村の土も、川も、風も、山も、姿がたちは変わつても、決してその根「」は変えられない、その上に残つた私たちの物語も、忘れられない限り残り続ける。彼らは決して見捨てないよ、あんたを。

和安

はい

俺は「」には立ち寄つただけなんだな  
ええ。忘れ物は見つかりましたか?

## 古郷之忘形見

和安

久八

和安

久八

和安

和安

和安

ウチヂ

ああ

バイバイ！和安！

そつか

ああ。お前は？お前たちは？

先に進めそいつですか？

忘れ物じやない。忘れ形見が見つかったよ。

和安旅立ちをする背中にスタッフ含め座組一同で贈る言葉

一同

和安さん。和安さん。あなたが生きた一百年後、あなたが愛し、あなたが離れたこの土の上で、一百年後のこの今に  
息を吸って 吐いてしている 私たち あなたが残した 忘れ形見が あなたへひとしきりの拍手を贈ります。  
私たち一人ひとりが、あなたへとひとしきりの拍手を 贈ります！ 拍手！ 拍手！ 拍手を……

幕

## 古郷之忘形見

本作は、近野和安著「奥州信夫・伊達二郡略年代記」「奥州信夫郡佐原村根元記」(1773年、元文)を主要参考文献としています。また、橋本邦推著「故郷之忘形見」の一書の解説も参考とし、執筆しました。